

大阪市水道局における取組について

大阪市水道局と関西送配電は、２０２４年２月に電力スマートメーター通信ネットワークを活用した水道自動検針に関する共同研究にかかる基本協定を締結し、水道自動検針の実用化に向けた４ヶ年の共同研究を進めています。

対象エリア	大阪市内
実施期間	２０２４年２月２９日～２０２８年３月３１日（約４年間）
実施概要	電力スマートメーターの通信ネットワークを活用し、水道スマートメーターの検針データを安定的に伝送できるかを検証する。
実施項目	①電力スマートメーター通信ネットワークを用いた水道スマートメーターの通信実証 ②スマートメーターのデータ利活用方法の検討 ③水道検針業務運営の検討 ④第２世代電力スマートメーターを用いた総合実証
これまでの成果・課題	通信実証等を通じ、水道自動検針における通信面・運用面の知見を蓄積。一方、実際の導入に向けた業務運用の整理が課題。
今後の予定	実証試験結果の評価および改善策の検討を継続していく。

京都市上下水道局における取組について

京都市上下水道局と関西送配電は、２０２６年２月に水道スマートメーターによる水道自動検針の実施に向けた基本協定を締結し、第２世代電力スマートメーターの通信ネットワークを活用した共同検針の先行導入に向けた取組みを進めています。

対象エリア	京都市の北部山間地域と、市街地の一部（脱炭素仕様の住宅街区） ・北部山間地域 約５，０００戸 ・伏見工業高等学校跡地・元南部配水管理課用地 約６００戸
実施期間	２０２６年４月１日～２０２９年３月３１日（３年間）
実施概要	京都市内の一部地域において、各家庭に設置している電力スマートメーターの通信網を活用した、水道スマートメーターによる水道使用量の自動検針を先行導入する。
これまでの取組み	現地調査や運用に関する意見交換を通じ、共同検針の実装に向けた準備を推進している。
今後の予定	２０２７年３月頃から順次、山間地域等において共同検針を開始する。導入の実施結果を評価・検証のうえ、水道スマートメーター導入拡大を検討していく。

関西電力送配電における取組について

関西送配電は、第2世代電力スマートメーター通信ネットワークを活用した水道自動検針サービス（共同検針サービス）の事業化を決定し、サービス展開に向けた取組みを進めるとともに、順次サービスの提供を開始してまいります。

なお、現在サービスの大規模展開に必要なシステムの開発・改修を進めており、完了後の2027年度上期を目途に、提供規模を拡大していく予定です。

これまでの取組み	自治体との共同研究・実証を通して第2世代スマートメーター通信ネットワークを活用した水道自動検針について、通信品質や水道検針業務への実用性等を検証。
サービス概要	第2世代電力スマートメーター通信ネットワークを活用し、水道スマートメーターで計測した水道使用量のデータを収集・提供するサービス。

<電力スマートメーターの通信ネットワークを活用した共同検針（イメージ）>

<https://www.kansai-td.co.jp/corporate/profile/business/jmr/index.html>

